ジャングル大帝（1966）

メディア 映画　アニメ
ジャンル アドベンチャー
製作国 日本
色彩 Color
時間 75分
初公開日 1966/07/31
公開情報 東宝

【解説】
手塚治虫の代表作のひとつで、動物ロマンの名作『ジャングル大帝』の初めての劇場アニメ。
誇り高きジャングルの王者＝白いライオンのパンジャ。だが彼は人間の手にかかり、同じく白い獅子の王子レオを忘れ形見として遺した。母エライザとも死別したレオは父の故郷ジャングルで、動物たち同士の秩序ある理想郷を築こうとする。だがそこに、三匹の凶暴な「死神」こと牙猫サミー、巨象ディプ、ヒヒのジュニアが出現。レオは彼らに一度、辛くも敗退するが、ジャングルの平和のため雄々しくも反撃に臨むのだった。
1965年から放映された同題TVアニメの劇場版。内容は設定編の第1話、強敵「死神」トリオがメインゲスト として登場する第41話の2本を主軸に、他の複数の挿話から名場面を集めて再構成。ただし作画はこの劇場用に、新規に描き直している。併映は、東宝の特撮怪獣映画『フランケンシュタインの怪獣サンダ対ガイラ』。

【クレジット】
監督 山本暎一
演出 林重行
製作 もり・まさき
原作 手塚治虫　Osamu Tezuka
脚本 辻真先
美術 伊藤信治
編集 古川雅士
音響 田代敦巳
音楽 富田勲
声の出演 太田淑子

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.